



双仁社

藤澤氏の功績たたえる

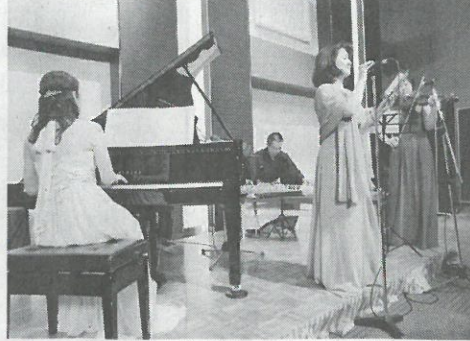
黄綬褒章受章で祝賀会開催



木暮支部長

2016年春の褒章で黄綬褒章に輝いた藤澤茂氏(日本塗装工業会・群馬県支部前支部長、フジサワ代表取締役社長)の受章祝賀会が7月30

日、ホテルメトロポリタン高崎で盛大に開催された。県内外の塗装工業関係者をはじめ財界人、友人など約180人が駆け付け、藤澤氏の栄誉をたたえた。
まず第一部として、藤澤氏の旧知のソプラノ歌手、バイオリンリスト、ピアノリスト、琴演奏家によるミニコンサートが行われ、同氏の選曲によるクラシックやポップスの名曲が披露され、出席者を魅了させた。
第二部の記念祝賀会では、発起人代表である日本塗装工業会群馬県支部の木暮実支部長が「藤澤さんの栄誉は塗装業界はもとより、物作りをな



ミニコンサートも開かれ会場を盛り上げた



青柳会長の発声で乾杯

推薦団体代表としてあいさつに立った日本塗装工業会の乃一総会長は「藤澤さんの受章は日塗装会員2400社の喜びであり誇り。藤澤さんは日塗装の各委員会で長年ご一緒させていただ



乃一会長

た。そのないオールマイティな仕事ぶりには敬服したもので、藤澤さんとの出会いがあったからこそここまで来られた。10期20年も支部をまとめ引っ張ってこられたのは素晴らしい一語に尽きる。今後後進の育成にご尽力いただきたい」と期待を寄せた。
来賓からは「それまで建設業の周辺にいた塗装業に『休暇・給料・環境』の新3Kを持ち込むなど新しい価値を付けた挑戦に敬意を表する」(山本



藤澤夫妻

龍前橋市長)、「人口減少社会にあって当会は毎年会員が増え続けている。藤澤さんの行動力によるところが大きい」(群馬経済同友会・齋藤一雄代表幹事)、「忙しい企業経営の中、法人会をはじめ地域の諸活動に積極的に取り組まれる人。今後ますますのご活躍を」(前橋商工会議所・曾我孝之会頭)など、たくさんのお祝いの言葉が贈られた。群馬県塗装看板協同組合の中嶋重理理事長から藤澤夫妻に記念品の贈呈も行われた。
藤澤氏は「学業終了後、塗装工業一筋44年。業界のイメージアップ、塗装業者の社会的地位向上が長年の目標だった。この度、図らずも褒章受章の栄に浴し、幾分かの責務が果たせたかなと感謝している。これを機に今後一層業界と地域社会の発展のために微力を尽くしたい」と決意を述べた。



藤沢さんの黄綬褒章祝う

高崎 黄綬褒章を今春受章した元日本塗装工業会県支部長でフジサワ(前橋市)社長、藤澤茂さん(66)の祝賀会が30日、高崎市内のホテルで開かれた。県内外の関係者約170人が、長年の功績をたたえた。

祝賀会は、ソプラノ歌手の永井美加さんら音楽家4人の演奏会で開幕。あいさつに立った藤澤さんは「自分の選んできた道は間違いではなかった。業界のため、地域社会のためまい進していこうと思う」と決意を新たにしました。写真。

